

総合政策部まちづくり企画課

1 米子市まちづくり活動支援交付金事業

市内で活動する団体が、地域課題の解決やよりよい市民生活の実現のために、創意工夫して行う自主的・継続的な活動を支援するため、公募により補助金を交付した。

本年度も、対象事業の規模等に合わせて、「ちょっこし活動コース」と「がいな活動コース」及び過去に補助金を受けたことのある団体が行う同一事業で、交付を受けた翌年から2年以上継続して行っている活動をさらに充実、発展させた事業が申請可能な「継続活動コース」の3つのコースを設けた。8団体から応募があり、外部委員からなる審査委員会においてプレゼンテーションによる審査を行った結果、8団体全ての事業を採用し、交付決定を行った。

また、地域が自主的に行う共助の取組を支援することで、課題解決の一役を担うとともに、誰もが安心して暮らし続けることができる地域づくりの推進を図るべく、昨年度に引き続き「共助交通支援コース」を設け、1団体から応募があり、書類審査の結果、採用を決定した。

交付団体及び交付金額

(1) ちょっこし活動コース

団体名	対象事業名	交付額（千円）
米子市立福生中学校保護者と先生の会	福生地区防災教育プロジェクト	87
ひがしやマルシェ実行委員会	第3回ひがしやマルシェ	90
陽田町自治会	防災を中心とした陽田町まつり	81
竹の活用を考える会	竹あかり小径	84
岡本おさみさんを語る会	旅に唄あり演劇と音楽の2days -岡本おさみさんと出会う2日間-	84
小 計		426

(2) がいな活動コース

団体名	対象事業名	交付額（千円）
米子がいな万灯振興会	米子がいな万灯40周年記念事業	300
一般社団法人米子青年会議所	G A I N A 激辛フェス2025	196
小 計		496

(3) 継続活動コース

団体名	対象事業名	交付額（千円）
ハーモニカ・フォーラム米子	山陰ハーモニカ祭 in 米子2025	193
小 計		193

(4) 共助交通支援コース

団体名	対象事業名	交付額（千円）
てごてごあがた	住民主体の送迎サービス支援事業	79
小 計		79

2 市民総合災害補償制度関係

市が主催する行事又は社会奉仕活動等に参加した者が、その参加中において身体に傷害を被った場合に、被災者に対し米子市民総合災害補償金を支給した。

(1) 傷害事故の発生状況

区 分		主 な 活 動	件 数
市が主催	社会体育活動	運動会、スポーツ大会等	1
	社会教育・生涯学習活動	学習会、公民館祭等	-
	社会福祉活動	保健相談、指導会等	-
	住民が参加する行事	防災訓練、投票所内での投票	-
市が依頼した社会奉仕活動		清掃活動等	-
計			1

(2) 補償金及び見舞金の支給状況

区 分		市民総合災害補償金			
		死亡給付金		入院・通院補償給付金	
		件数	金額（円）	件数	金額（千円）
市が主催	社会体育活動	-	-	1	80
	社会教育・生涯学習活動	-	-	-	-
	社会福祉活動	-	-	-	-
	住民が参加する行事	-	-	-	-
市が依頼した社会奉仕活動		-	-	-	-
計		-	-	1	80

3 基地対策関係

(1) 美保基地周辺環境整備の調整及び促進を行った。

(2) 米子飛行場周辺地域振興協議会の開催

総 会 令和7年8月21日

4 米子空港滑走路延長（2,500メートル化）関係

米子空港滑走路延長事業に係る地元との調整は、8月21日開催の地元協議会において、取組状況と地域振興計画の進捗状況等について説明と報告を行い、了承された。

5 米子市弓浜コミュニティー広場関係

防衛省中国四国防衛局が整備した米子市弓浜コミュニティー広場（米子市大篠津町）を平成27年度に供用開始した。人工芝で、主にサッカーやラグビー等の利用ができる第1多目的広場と、グラウンドゴルフ等の利用ができる第2多目的広場があり、指定管理者による施設管理を行っている。

施設名	開場日数〔日〕	利用日数〔日〕	利用人数〔人〕
第1多目的広場	359	330	49,829
第2多目的広場	365	203	4,365

6 移住定住推進事業

(1) 相談対応業務

専任の移住定住相談員が、移住（ＩＪＵターン）の相談者に対して就職、子育て、医療、高齢者サービス、住宅等の紹介を行うとともに、県外在住の相談者への交通費助成や個別ニーズに対応した市内案内を行った。さらに、移住定住ガイドブックを活用し、移住前後の認識の齟齬の解消に努めた。

また、公益財団法人ふるさと鳥取県定住機構が主催する移住体験ツアー及び東京・大阪・岡山での移住相談会、さらに中国四国共同移住・交流フェア実行委員会が主催する「中国四国フェア」（大阪市開催）に参加し、米子市への移住希望者への相談対応を行った。

(2) 情報発信業務

ア SNS（Facebook・X）及び米子市メールマガジンで地域情報や県外相談会などの情報発信を行った。

イ 市ホームページでの移住支援施策及び移住者体験談等の紹介や移住定住ガイドブックの配布等を通して米子市の魅力を発信した。

ウ 移住PR動画を新たに作成し、市ホームページへの掲載及び市公式YouTubeに投稿しているほか、東京圏・関西・山陽の20～40代に向けてTVerの広告として放映した。

(3) 移住定住促進施策について

移住相談者に対しては、支援策並びにニーズに合った就職情報及び住まいの情報等を提供し、綿密な相談体制を構築した。

また、移住者に対しては、移住した地域の情報や定住に向けた情報を提供するなど、移住後のフォローアップを行い定住促進に努めた。

(4) 移住者数等実績

- ・移住相談件数 291件
- ・県外からの移住者数 536人

(5) ビジネス人材確保推進事業

米子市への移住定住の促進、中小企業等の人手不足解消及び地域課題に対応した起業の促進に資するため、東京23区の在住者又は通勤者で、米子市に移住する就職者及び起業者に対して、移住支援金を交付した。

- ・利用件数 13件

7 国際交流事業

(1) 友好都市中国保定市

国際交流献立の実施

市内小中学校で中国の食文化を取り入れた学校給食を提供するのに併せて保定市を紹介するポスター及び音声データを作成し、学校へ配布した。

実施日：令和7年11月19日

(2) 姉妹都市韓国東草市

ア 米子市・東草市姉妹都市提携30周年記念事業の実施

(ア) 記念式典の開催及び東草市訪問団の受入（23人）

5月15日から18日まで、裴相堯（ペ・サンヨ）東草市副市長を団長とする代表訪日団23名を迎え、記念式典において共同宣言を発表し、今後のさらなる友好交流の推進を確認した。また、10月23日から26日まで「米子がいな万灯振興会」を東草市へ派遣し、「雪嶽（ソラク）文化祭」で万灯を披露するなど、交流を深めた。

(イ) 姉妹都市提携30周年記念事業講座の実施

束草市出身の国際交流員と束草市へ派遣経験のある職員が、米子市と束草市との交流の歴史や、束草市の魅力、派遣研修での体験談を紹介することで、束草市理解の促進、束草市訪問の機運醸成、米子市と束草市の交流活性化に繋げた。また、記念講座に合わせて来日した束草市・米子市姉妹委員会5名が特別ゲストとして参加し、市民との交流を深めた。

イ 米子市、束草市それぞれ相互に職員を派遣し、互いに行政施策についての研修を実施した。

(ア) 束草市派遣研修

受入期間：令和7年5月9日～6月6日

受入職員：教育家族支援課 主事補 金英進（キム・ヨンジン）

研修テーマ：児童福祉に関する政策及び児童施設の現状把握

米子市・束草市姉妹都市提携30周年記念事業の運営

(イ) 米子市派遣研修

派遣期間：令和7年6月11日～7月9日

派遣職員：秘書広報課 係長 田中 祥子

研修テーマ：広報業務について（束草市報の編集やSNSの運用方法など）

米子市報に掲載する束草市関連記事の取材

ウ 民間交流促進

(ア) 令和7年8月8日～11日の束草市・米子市姉妹委員会代表団による米子市訪問について連絡調整や通訳支援等で支援した。代表団は、第52回米子がいな祭のパレードに参加し交流を深めた。

(イ) 米子北斗中学校による韓国への研修旅行について、束草市への連絡調整や事前講習等で支援した。

(ウ) 米子高校PTAと韓国のボランティアサークルの交流に伴う通訳を行った。

(エ) 米子聖園天使園と韓国のボランティアサークルの交流に伴う通訳を行った。

エ 国際交流献立の実施

市内小中学校で韓国の食文化を取り入れた学校給食を提供するのに併せて束草市を紹介するポスター及び音声データを作成し、学校へ配布した。

実施日：令和7年5月15日

(3) 環日本海諸国との交流

束草市が主催した環日本海拠点都市会議へ出席し、環日本海地域の一体的な発展方策について協議した。

会議テーマ：グローバル時代における環日本海拠点都市間の友好交流および経済交流の活性化方策

開催日：令和7年11月20日

開催方法：オンライン

参加都市：日本／米子市、鳥取市、境港市

韓国／束草市、浦項市、東海市

中国／琿春市、図們市、延吉市

ロシア／ウラジオストク市

(4) 国際交流員の任用

JETプログラムにより中国・韓国の2名の国際交流員を任用し、学校、公民館等の国際理解講座へ講師として派遣したほか、中国語講座、韓国語講座を開催し、市民の国際意識の高揚を図った。また、海外との連絡調整、外国語の翻訳、通訳等の業務を通じて、友好姉妹都市交流事業の円滑化と地域国際化を図った。

・国際交流員（中国担当）：董 禕菲（ドン・イヒ）・国際交流員（韓国担当）：林 慧珠（イム・ヘジュ）

(5) 国際児童絵画展

ア 国際児童美術交流展（束草市）

束草市で国際児童美術交流展が開催され、米子市児童の作品 30 点を出品した。

期間：令和 7 年 6 月 14 日～19 日

会場：束草文化芸術会館展示室

イ 国際児童絵画展（米子市）

米子市児童美術作品展に併せて、保定市と束草市の児童絵画作品 59 点を展示した。

期間：令和 8 年 2 月 4 日～16 日

会場：米子市児童文化センター

(6) 地域国際化事業

ア 在住外国人及び地域国際化相談業務

市内在住外国人の日常生活に関する問題や一般市民からの地域国際化に関する問い合わせに対し、相談業務を行った。

イ 国際交流員による市民向け語学講座の開催

(ア) 中国語入門講座 全 10 回（昼の部／夜の部）

期間：令和 7 年 7 月 17 日～9 月 25 日 （33 人）

(イ) 韓国語入門講座 全 6 回（昼の部／夜の部）

期間：令和 8 年 1 月 15 日～2 月 26 日 （41 人）

ウ よなご国際交流フェスティバルの開催（約 1,700 人）

多文化共生社会の実現に向けて地域住民と在住外国人との協働による異文化理解の促進を目指し、よなご国際交流フェスティバル 2025 を実行委員会（参加団体 33 団体・個人ボランティア 6 人）形式で開催した。

開催日：令和 7 年 11 月 3 日

会場：米子市文化ホール

エ 国際交流員による国際理解活動

国際交流員を小・中学校（韓国 9 件、中国 8 件）、公民館等（韓国 13 件、中国 14 件）の国際理解講座へ講師として派遣した。

オ 国際交流員による情報発信

(ア) DARA Z FM、山陰放送（ラジオ）に出演し、中国や韓国の最近の様子、文化やグルメ情報を発信した。

(イ) 広報よなご内に国際交流員コラム「保定から愛をこめて」・「ヘジュセヨ、韓国」を掲載し、中国や韓国の文化、米子市の国際交流事業についての情報を発信した。

カ 外国人向け防災勉強会の開催（45 人）

鳥取県国際交流財団、米子国際ビジネスカレッジ、鳥取地方气象台及び米子消防署と協力し、米子国際ビジネスカレッジの学生を対象とした防災勉強会を開催した。

開催日：令和 7 年 12 月 12 日

会場：鳥取県西部総合事務所

キ にほんごきょうしつの開催（52 人）

鳥取県国際交流財団と協力し、市内に在住、通勤・通学する外国人を対象とした日本語教室を開催した。

期間：令和 7 年 5 月 11 日～令和 8 年 3 月 22 日